

欠陥機オスプレイの沖縄・普天間基地への強行配備は、日本ヤマトの沖縄差別で人権侵害！

民衆の闘い「巨象」を倒す

— 沖縄・読谷飛行場返還物語 弱者が勝つ戦略・戦術

山内徳信（参議院議員、元読谷村村長）著 A 5判 192 ページ 1000 円（税別）



民衆の抵抗する力が歴史を創る。 辺野古基地断念せよ！

歴史を動かす力、悪政を正す力、普天間基地を撤去させる最後の力、辺野古新基地建設計画を断念させる最終的な力を持っているのは、実際は市民・県民の声であり闘いの実践である。要するに民衆の抵抗する力にかかっているのである（本文より）。

読谷村長として地域住民の生命を守るためにアメリカ政府、米軍などと「したたかな」自治体外交の結果、読谷飛行場を返還したこと、国会議員として国や防衛省、外務省などへ沖縄の現実の問題訴え、オスプレイの普天間基地への強行配備に身を挺して抗議したことなどを掲載。

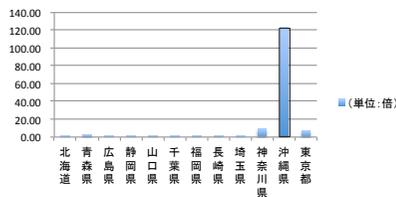
「日本の安全、平和のため」といって一方的に米軍基地の押しつけるが、沖縄は「日本」ではないのでしょうか。沖縄の現状、沖縄への差別構造などを明らかにし、日本本土の問題としてわかりやすく訴えます。

著者紹介：（やまうち・とくしん） 1935 年沖縄県読谷村字宇座に生まれ。58 年琉球大学文学部（史学科）卒業。58 年沖縄県立読谷高等学校赴任。74 年沖縄県読谷村長初当選、自治体行政へ転換、6 期 23 年半。98 年 1 月 28 日沖縄県出納長就任。2007 年参議院議員（比例区）当選。

主な著作

『沖縄・読谷村の挑戦』（1997 年、共著・岩波ブックレット）、『米軍再編と沖縄の基地—国外移転こそ民衆の願い』（06 年、創史社）、『沖縄・読谷村憲法力がつくりだす平和と自治—新版・憲法を实践する村』（07 年、明石書店）、『怒り滾る基地の島沖縄—嘘をつく日本政府はハブに咬まれる』（10 年、創史社）他。

沖縄には米軍施設の 74% 集中
面積比で 122 倍の超負担
(沖縄 2275.28km²、全国 37 万 7923.14km²に 73.83%の基地)。



参議院議員は山内徳信（発言中）から山城博治（右）へバトンタッチ！（12.9）



発行：創史社 185-0013 東京都国分寺市西恋ヶ窪 4-7-16 TEL,FAX:044-987-5584 sousisha@ybb.ne.jp

●書店に注文する場合は下記に記入してお申し込み下さい。また、お近くの図書館にリクエストして下さい。

書店名	注文	発行＝創史社 発売＝八月書館（電話：03-3815-0672）
		民衆の闘い「巨象」を倒す — 沖縄・読谷飛行場返還物語 山内徳信著 本体 1000 円
	冊	お名前 電話番号